



## とちぎマイスター「表装（表具作業）」技能の例

表装、表具を通し、伝統技法にこだわりながら、新しき価値を生み出す飽くなき挑戦

くりた ひでのり  
**栗田 英典** 宇都宮市 在住

栗田表装 (TEL 028-672-0997)

### 「柔らかさと多孔性」を、表装と道具の接点面に活かし、美しく優れた施工物を実現

(現在の仕事)

常に本物を志向し、真摯な仕事ぶりが信頼を生むとの信念で、昔の表具師が手掛けた古いものを仕立て直し、次の時代に引き継ぐことを使命としている。

(得意な分野)

表装の重要な技術とされる「柔らかさと多孔性」を、表装と道具の接点面に活かして表装する技能を発揮し、リスクがある作品への剥がす技術と見識眼に注力している。また洋風化した大壁面の現代建築様式と空調による極度の乾燥状態に対し、独自の工夫と伝統技術力を融合させている。

### 常に伝統的技能を昇華させ続け、近代的技術との融合を図る技術の開発に積極的に取り組む

表装に使われる手漉き和紙、裂地などの材料は、日本固有の伝統的財産であり、表具師にとっても大切な財産です。

現代、表装に用いられる素材は、化学繊維から高価な正絹、金糸を使った緞子などを使用し、施工の対象となる美術品や書画は、古いものから新しいものまで多様なものを対象としています。また、大きく変わる住宅事情に対して、内装・襖・障子・表具を時代に合わせ、独自の手法を用いつつ、伝統的な形を守り、現代に合った創意工夫を施すところに、今に生きる表具師としての役割を見いだしていく使命があると、常に肝に銘じています。

